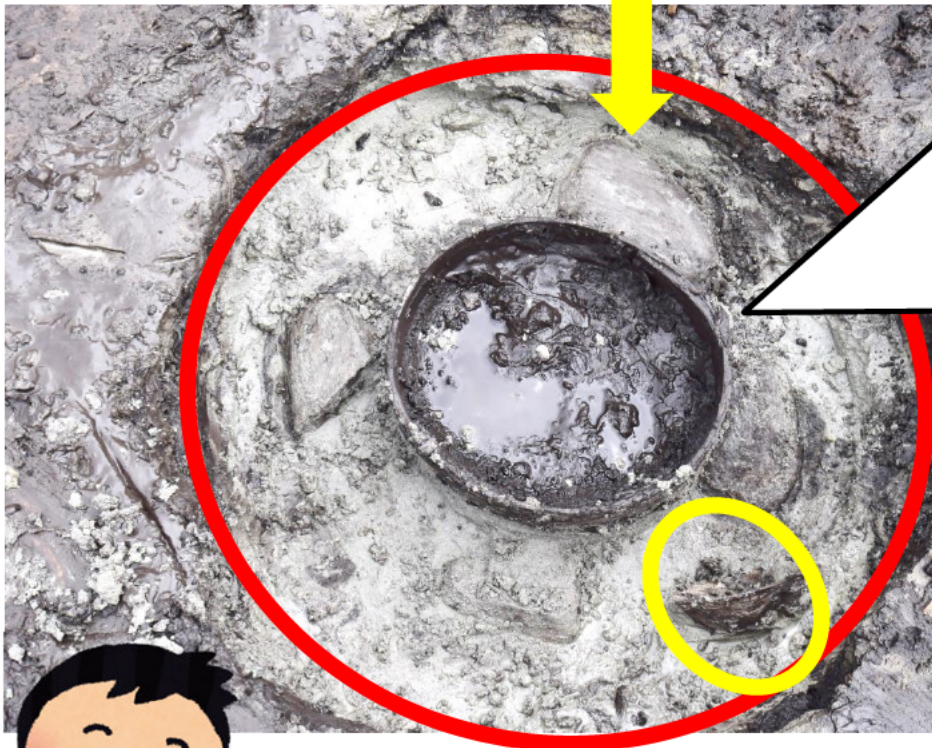


やごろうがいと
弥五郎垣内遺跡 その5



約5か月間の調査でしたが、今回の報告がラストです。

最後の調査区から出てきたのが…



井戸です。

ほりかた
掘形の中から、山茶碗<黄丸部分>が見つかりました。



ほりかた
掘形というのは、井戸をつくる時に掘った穴のこと<赤丸部分>だよ。



直径 17 センチ、
器高 5 センチの山茶
椀です。鎌倉時代に
つくられた陶器の椀
です。

★さいごに★

5月上旬より実施しておりました「弥五郎垣内遺跡」の発掘調査が、この度終了いたしました。調査期間中、嬉野釜生田町の皆様には様々なご協力をいただき、感謝申し上げます。

調査によって明らかになった遺跡の実態につきましては、調査の記録をまとめ、報告書として刊行する予定となっております。嬉野釜生田町の皆様はもちろん、多くの皆様にお役立ていただければ幸いに存じます。

今後とも当センターの発掘調査に、ご理解・ご協力のほど、宜しく願い申し上げます。

<問い合わせ先> 〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503
三重県埋蔵文化財センター調査研究1課
担当者：谷口・中川・渡辺・大石
電話：0596-52-7028 FAX：0596-52-7035
E-mail：maibun@pref.mie.jp

